



投資ファンドのポラリス・キャピタル・グループ、ノバレーゼ<2128>をTOBで子会社化



ノバレーゼは、投資ファンドのポラリス・キャピタル・グループ（東京都千代田区）が完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。ポラリスは出資するNAPホールディングス（東京都千代田区）を通じ、全株式の取得を目指す。買付代金は最大約200億円となる。ノバレーゼはTOBに賛同している。人口減少などの影響によりブライダル業界は競争が激化しており、ノバレーゼは投資ファンドの傘下に入ることで、不採算店舗の改善や新規出店の加速を進め企業価値向上につなげる。TOBが成立すれば、東証1部への上場は廃止となる見通し。

買付価格は1株につき1944円で、TOB公表前日の終値794円に対して144.84%のプレミアムを加えた。買付予定数は1028万6590株で、下限は所有割合73.83%にあたる759万4500株に設定した。合計で47.66%を所有するノバレーゼ創業者で会長の浅田剛治氏らはTOBに応募することで合意している。

買付期間は2016年9月2日から10月18日。決済の開始日は10月25日。公開買付代理人は野村証券。

ノバレーゼは主力のブライダル事業では、直営婚礼施設28店舗を全国に展開。また、レストラン特化型事業では米国本拠のレストランを国内で運営するなど、国内外で合計10店舗を展開している。